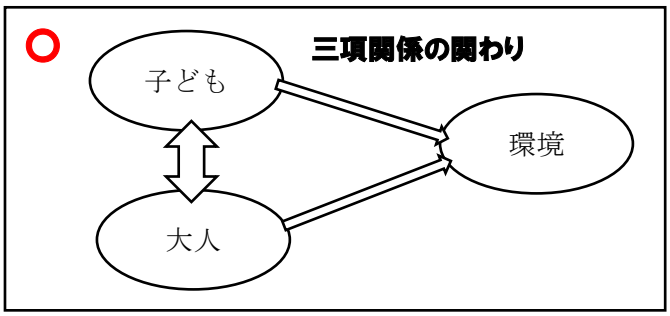
東洋大学　高山静子　20180９28 改訂

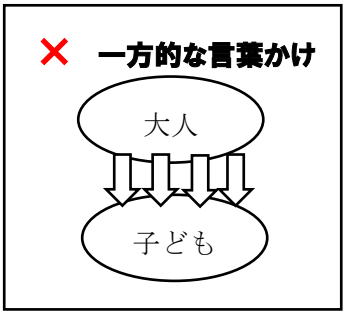
幼児期の終わりまでに育てたい「話し言葉」のリスト（試案 11）

1．子どもは、体験と、周囲の大人の言葉によって、異なる言葉を身につけます。

「ちょうちょ、やば」		「あ、きれいなちょうちょがとんできたね」
「うわ、川やばくない」		「きょうは川がとてもはやく流れているね」
（無言で靴をはかせる）		「さあ、靴をはこうね」

2．子どもが話すことが大切です。大人は注意と体を子どもに向け、交互に話します。





3．　子どもが使う言葉は、認識や思考、感情、ひいては人格の現れです。

子どもが幼児期に身につけた言葉は、人とのコミュニケーションや、感情コントロールに影響を与えます。また体験の伴う豊かな話し言葉は、学習と思考の確かな土台となります。研究では、幼児期の語彙（ごい）が多い子どもほど、学童期以降に学力が高いことが明らかです。子どもたちに、どのような言葉を身につけてほしいでしょうか。

4．本リストは、子どもの体験を考え、保育者・保護者の言葉を豊かにするためのものです。

子どもたちが、豊かな言葉を身につけるためには、豊かな体験と、豊かな会話が必要です。
子どもに幼児期に体験してほしいことを考え、大人の言葉を豊かにするために活用していただけると幸いです。

5．幼児期の終わりまでに、子どもに使ってほしい話し言葉を、以下に書いてみましょう。

６．本リスト活用のヒント～保育者と保護者で活用するヒント

- 「概要版」を読み、自分が使っている言葉や、子どもたちが使っている言葉について、気づいたことや考えたことなどを、話し合ってみましょう。

- 保育者同士、あるいは保護者と一緒に、子どもが、日々、最も多く大人から聞いている言葉はどんな言葉か、自由に出し合って共有してみましょう。

- 「詳細版」を読み、自分が子どもに使っている言葉に印をつけてみましょう。

- 保育室・園庭・地域・家庭の略図を準備し、「詳細版」の生活習慣、身体動作他の言葉を書き込み、子どもが体験している内容を、確認してみましょう。

- 詳細版「１．気持ちや考えを表出し、気持ちや行動をコントロールする言葉」を読んで、保育者同士、あるいは保護者と一緒に、子どもたちが使っている気持ちや行動をコントロールする言葉に印をつけましょう。

- 詳細版「２．コミュニケーションの言葉」を読んで、自園では、小学校に行くまでにどのような言葉を育てたいか、話し合ってみましょう。またコミュニケーションの言葉で、意識的に子どもに伝えている言葉はどのような言葉か、保育者同士、あるいは保護者と一緒に出し合い、共有してみましょう。

- 詳細版「（１）学び、考えるための言葉」を読み、子どもが使っている言葉に印をつけましょう。ほかにも、こどもたちが、学び思考するために使っている言葉がないか、考えてみましょう。

- 詳細版「（３）と（４）の子どもに知ってほしい名詞」は地域によって異なります。研究では、年長児でも、身近に咲く花の名前でも、多くの子どもが知らないことがわかっています。地域や園の特徴から、卒園までに子どもたちに知ってほしい自然物、社会等に関する名詞を、出し合い、表の空欄に書いてみましょう。

- 大人のほめ言葉として、「じょうず」「うまい」「頭がいい」といった、結果や能力を認めるタイプのほめ言葉は、子どもに良い影響を与えず、「がんばったね」といった、プロセスを認めることや励ますことが、子どもの挑戦する姿勢やあきらめない心を育てると言われています。プロセスを認めるほめ方、励ましには、どのような言葉があるか、自分の使っている言葉を、場面ごとに出し合ってみましょう。

幼児期の終わりまでに育てたい「話し言葉」（概要版）

１．感情を表出し、感情や行動をコントロールする言葉

気持ちを表す・・・はらがたつ・くやしい・おかしい・さびしい・いやだ・こわい等
体調を伝える・・・いたい・きもちがわるい・はきけがする・ムカムカする等
気持ちや行動をコントロールする・・・～のもの・そっと・大事・わざとじゃない等
中間の世界を理解する・・・中くらい・どちらでもない・そういうときもある等

２．コミュニケーションの言葉

挨拶・・・おはよう・おはようございます・こんにちは等
誘う･頼む・・・あそぼう・いれて・いっしょにしよう・やってもいい等
励ます･認める・・・がんばってるね・きっとできる・やれる等
共感する・・・そうなんだ・そうか・よかったね等
貢献する･助ける・・・手伝おうか・いっしょにしよう・大丈夫・どうしたの等
感謝やおわびを伝える・・・ありがとう・ごめんね等

３．概念や認識をもち思考するための言葉

（１） 学び、考えるための言葉

助けを求める・・・わからない・おしえて・どうやるの・どうするの・どうしたらいい等
知識･技術を、獲得する・・・どうして・どう思う・誰に聞く・誰がくわしい・何が問題等
接続詞･助詞･代名詞・・・それから・だから・～に・～を・～と・そのとき等

（２） 数量感覚に関する言葉

量･位置･感覚･程･数･数え方･時間･曜日･月に関する名詞･形容詞・・・薄い・厚い、〇番目等
数量の操作に関する動詞･形容詞・・・あわせる・ならべる・くらべる・わける・残る等

（３）科学的な感覚と認識を育てる言葉

自然に関する動詞・・・吹く・降る・止む・曇る・晴れる・照る・燃える等
感覚を表現する形容詞・・・黒い・まぶしい・暗い・きれい・しょっぱい・熱い等
身近な自然に関する名詞・・・天候・生き物・植物・果物・野菜・自然・地形に関する名詞
抽象的な概念･事象に関する名詞・・・色・国・人の呼称・関係に関する名詞

（４）社会を認識する言葉

社会に関する抽象的な名詞･･･季節･国･宇宙･人の呼称･関係等に関する名詞
子どもの身近な社会に関する名詞･･･施設・職業・住居・日用品・身体他に関する名詞

（５）生活習慣に関する言葉・・・飲食・睡眠・身支度・調理・掃除・洗濯・その他に関する名詞

（６）身体動作に関する言葉・・・引っぱる・押す・スキップする等

東洋大学　高山静子　20180９28改訂

幼児期の終わりまでに育てたい「話し言葉」（詳細版）

１．感情を表出し、感情や行動をコントロールする言葉

幼児期には、子どもは、自分の気持ちや考えを、言葉で表現すること、そして、自分の感情や行動を言葉で抑制することを学びます。また幼児期は、「いい・悪い」のどちらでもない、「中間の世界」を理解することができるようになります。中間的な世界の認識が育っているかどうかも、子どもの言葉から把握することができます。

気持ちを表す	うれしい・たのしい・すっきりした・おもしろい・さわやか・きもちがいい・しあわせ・すき・だいすき・きれい・すてき・うつくしい・かわいい・いいね くるしい・はらがたつ・くやしい・おかしい・かなしい・さびしい・いやだ・かなしい・こわい・おそろしい・はずかしい・きもちがわるい・きみがわるい・イヤなきもちがする・きんちょうする・かわいそう・ひどい・きらい・だいきらい
体調を伝える	いたい・きもちがわるい・はきけがする・ムカムカする・打った・ころんだ・きった・くるしい・くすぐったい・かゆい・ねむい・だるい・きつい・ぐあいがわるい
考えを表す	良い（いい）・悪い・正しい・似ている・違う・間違い・むずかしい・かんたん・ずるい・かしこい・やさしい・うまい・危ない・かっこいい・うそだ・うそつき・～になる・だと思う・～に分かれる・そうだね・〇〇もそう思う
気持ちや行動をコントロールする	～のもの・みんなのもの・じゅんばん・がまん・ダメ・しないほうがいい・そっと・大事・大切・大丈夫・いっしょに・はんぶんこ・してはいけない・していい・わざとじゃない・心配しなくていいよ
気持ちを切り替える	～するつもり・～のしごと・残念・仕方がない・気にしない・あともう少し・～したら～・もう一回してみよう・またやろう
白か黒かの二極の世界から中間の世界を理解する	まよう・なやむ・おしい・中くらい・どっち・どちらでもない・そういうときもある・うまくいかないときもある・まちがうこともある・あまりよくない・どちらも悪い・どちらでもない・～かもしれない・～のときもある・そんなこともある・～もあるし～もある・～かもしれない・～したほうがいい・～より・ちょっとだけ・だんだん・ちょっと・ちょっぴり・ほとんど・もっと・あまり・とても・すこし・いつも・ときどき

２．コミュニケーションの言葉

人への信頼感をもち、人に働きかけ、人とよい関係をつくろうとすること。これらは、乳幼児期の発達課題です。
子どもは、自分にかけてもらった言葉を、他の人にも使おうとします。
空欄に、大人が、意図的に、子どもたちに使っている言葉などを、書いて共有してみましょう。

挨拶	おはよう・おはようございます・こんにちは・さようなら・いただきます・ごちそうさまでした・しつれいします・どういたしまして・おやすみなさい・よろしくお願いします・どうぞ・はいどうぞ
誘う・頼む	あそぼう・～しよう・いれて・かして・いっしょにしよう・やってもいい・手伝って・～してもらえない・～してくれない・～をたのんでいい・かして・～したい子いる・みんなきいて・～してください（大人に）・～してもいいですか（大人に）
断る・交渉する	いや・やめて・しないで・ダメ・むり・でも・だって・～したい・～したくない・～だったらいい・ほしい・つかいたい・まだ・もう少し・ここまで
感謝やわびを伝える	ありがとう・ありがとうございました・ごめんね・ごめんなさい
励ます・認める	すごい・すてき・おもしろい・かっこいい・うまい・じょうず・がんばってる・よく知っている・～の天才・～の博士・～のチャンピオン・強い・すてきだね・すばらしい・きっとできる・がんばればできる・やれる・よかったね・大丈夫だよ
共感する	うん・へえ～・そうなんだ・そうだったんだ・そうか・どうぞ・どういたしまして等
貢献する・助ける	手伝おうか・手伝うよ・大丈夫？・どうしたの？・やってあげようか・いっしょにしよう

３．概念や認識をもち思考するための言葉

（１）主体的に学び、考えるための言葉

わからないことを人に聞くことは、学びの上で不可欠です。幼児教育では、人に聞く、話し合う、いっしょに考えて解決する体験ができるようにします。接続詞・助詞・代名詞は、結びつける・比較する・理由や説明を考えるための助けになります。

助けを求める	しらない・わからない・おしえて・どうやるの・どうするの・どうしたらいい等
知識・技術を、獲得する	不思議だね・どうして・なぜ・なんだろう・なぜなら・どう思う・どう思った・～ですか・～って何・～って誰・何してるの・誰・誰に聞く・誰がくわしい・どこへいけばわかる・何に書いてある・どうしてそうなった・どうしてそう思った・そのわけは・ 何が問題・どこが問題・どんな風にしたい・何をしたい・どんなものをつくりたい
接続詞	でも・だって・それから・そして・それで・だから・なぜなら等
助詞	～で・～に・～を・～は・～が・～と等
代名詞	そのとき・そこで

（２）数量感覚に関する言葉

幼児期には、直接、事物と関わり、数量感覚を身につけます。体験に言葉をそえることが、大人の役割になります。

量	大きい・小さい、長い・短い、広い・せまい、遠い・近い、高い・低い、深い・浅い、多い・少ない、太い・細い、薄い・厚い、丸い・四角い、平べったい（平たい）・細長い、早い・速い・遅い・ゆっくり
位置	上・中・まん中・下・右・左・後・前・外・内・あいだ・すみっこ・すみ・まわり・たて・よこ・ななめ・表・裏・全部・半分・残り・となり・反対・反対側・両方・片方・逆・かど・はし・入り口・出口・～の場所・順番・交代
感覚	やわらかい・かたい・重い・軽い・荒い・でこぼこ・すべすべ・速い・遅い等 かたち・マル・さんかく・しかく・わ・真四角・まんまる・つつ・はこ・
程度	ちょっと・ちょっぴり・すこし・あまり・ほとんど・すっかり・もっと・ずっと・とても・かなり・いつも・ときどき・やすい・たかい
数	ぜろ・いち・にい・さん・しい・ご・ろく・なな・はち・きゅう・じゅう
数え方	○番目・ひとり・ふたり・○人・○番・○個・○枚・○台・○本・○匹・○羽・○頭・○段 一つ・二つ・三つ・四つ・五つ・六つ・七つ・八つ・九つ・十
時間	時間・朝・昼・夜・夕方・夜中・午前・午後・なんじ・○時○分 あした・きょう・今・きのう・おととい・あさって・毎日・～の日・このあと・このまえ・あと・こんど・～だった・～だったとき・はじめ・つぎ・さいしょ・おわり・おしまい・さいご
曜日・月	日曜日・月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・1月・2月・3月
数量の操作の動詞・数量に関連する状態	そろえる・あわせる・ならべる・くらべる・わける・なかまあつめをする・おりたたむ・ひろげる・せまくする・大きくする・小さくする・のばす・ちぢめる・あげる・おろす・のぼる・おりる・ほる・つみあげる・かぞえる・はかる・あまる・たりる・たりない・のこる・ふえる・へる・ふくらむ・ちぢむ・おくれる・まにあう

（３）科学的な認識に関する言葉

①自然に関する動詞

天候･気象	吹く・降る・止む・曇る・晴れる・照る・光る・輝く・昇る・沈む・積もる
人間	生まれる・生む・死ぬ・生きる・なぐさめる・笑う・踊る・歌う・遊ぶ・考える・しゃべる・言う・読む・見る・聞く・答える・泣く・喜ぶ・がっかりする・驚く・恐がる・怒る・叱る・謝る・借りる・貸す・売る・買う・飼う・ふざける・あきる・いじめる・かわいがる
動物	ほえる・はねる・飛ぶ・しのびよる・横たわる・ひっかく・食いつく・かぐ・くわえる
植物	枯れる・散る・咲く・（芽が）出る・伸びる・はえる・たおれる・ゆれる
水･土･火	浮く・乾く・こおる・しみる・こげる・燃える・さめる・湿める・消える・焼ける・流れる・落ちる

②感覚を表現する形容詞･副詞

視覚	赤い・青い・白い・黒い・黄色い・まぶしい・明るい・暗い・美しい・きれい・きたない
味覚	あまい・からい・しょっぱい・すっぱい・にがい・おいしい・まずい・うまい・あつい・冷たい・温かい
触覚	暖かい・涼しい・寒い・暑い・気持ちいい・ぬるい・やわらかい・かたい・けむい・けむたい・ベトベト・サラサラ・なめらか・つるつる・ふわふわ・ちくちく
聴覚	うるさい・さわがしい・静か
嗅覚	くさい・こうばしい
状態	不思議・新しい・古い・気味が悪い・強い・弱い・おとなしい・忙しい・ずるい・かしこい・やさしい・明るい・かわいい・やせた・ふとった・変わった・こっそり・いきなり・すっかり・ずっと・にこにこ・にやにや・そわそわ・いらいら・はらはら・ちらちら・どんどん

③身近な自然に関する名詞　（空欄は、地域や園に合わせて書き加えてください）

天体	太陽・月・星・空
天候	天気・晴れ・曇り・風・雷
動物	さる・しか・象・かば
ペット	イヌ、猫、ウサギ
鳥	すずめ・つばめ・からす
虫	はち・とんぼ・せみ
魚	鯉・ふな・まぐろ・いわし
貝	あさり・かたつむり
は忠類	へび・とかげ
両生類	かえる・かめ・いもり
木	桜・つつじ・いちょう
花	たんぽぽ・シロツメクサ

果物	りんご・なし・かきすいか・レモン
野菜	大根・ごぼう・かぶ・白菜・こまつな
豆	そらまめ・いんげん・あずき・大豆
植物の部分	花・葉・茎・根・幹・枝・実・種・芽
自然	水・氷・蒸気・木・金属・鉄
地形	空気・湯気・煙・光・影・電気音
地形	海・陸・川・湖・池・山

（４）社会を認識する言葉

①社会に関する抽象的な名詞

季節	季節・春・夏・秋・冬・正月・行事・運動会・たなばた・いもほり・お正月
国･宇宙	国・日本・外国・世界・地球・宇宙
人の呼称	ぼく・わたし・あなた・きみ・わたしたち・ぼくたち・いとこ・おやこ・きょうだい・しんせき・かぞく・まご・むすめ・むすこ・人・人間・日本人・外国人・男・女・小学生・中学生・高校生・大学生・夫婦・大人・子ども・赤ちゃん
関係	自分・ともだち・仲よし・なかま・けんか・内緒・うそ・気持ち・交代・順番・いじわる・仲間はずれ・親切・勝ち・負け

②子どもの身近な社会（空欄は、地域や園に合わせて書き加えてください）

職業	運転手・車掌・消防士・漁師
自動車	乗用車・オートバイ・トラック
船	フェリー・ヨット・
電車	機関車・電車・モノレール
飛行機	ジェット機・ヘリコプター
住居	部屋・屋根・窓・玄関・庭
家具	タンス・机・椅子・傘立て・花びん
台所用品	鍋・フライパン・流し・ボール・ざる
日用品	洗面器・ハンカチ・バスタオル
掃除用品	ほうき・はたき・ちりとり・雑巾
寝具	掛け布団・敷き布団・毛布・シーツ
大工道具	金づち・のこぎり・ドライバー・くぎ
電気製品	洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ・テレビ
服	上着・下着・シャツ・帽子・手ぶくろ

靴	くつ・長ぐつ・サンダル・ぞうり
食べ物	野菜・果物・肉・魚・飲み物
呼称	おかあさん・おにいさん・いもうと
身体	からだ・顔・目・唇・耳・目・眉毛
行為	あくび・おじぎ・握手
病気	病気・薬・うがい・血・咳・けが・傷
楽器	ふえ・たいこ・すず・ギター
スポーツ	マラソン・水泳・スケート・スキー
園の遊び	

（５）生活習慣に関する言葉

飲食	食べる・飲む・かむ・なめる・すする・はき出す・のみこむ
睡眠	寝る・眠る・起きる・（目が）覚める
身支度	脱ぐ・着る・はく・はおる・はめる・かぶる・着がえる・しまう・濡らす・乾かす・結ぶ・ほどく等
調理等	焼く・煮る・揚げる・ゆでる・むく・切る・けずる・炊く・作る・注ぐ・かける・ぬる・つける・はさむ・まぜる・あえる・こぼす・温める・配る・冷ます・冷やす・沸かす・計る・ちぎる・つぶす・混ぜる・注ぐ・すくう・洗う・しぼる・割る
掃除	掃く・拭く・集める・はたく
洗濯	洗う・しぼる・ほす・かける・たたむ
その他	縫う・刺す・写す・通す・描く・書く・なぞる・編む・塗る・直す・壊す・鳴らす・吹く・弾く・植える・埋める・釣る

（４）身体動作に関する言葉

操作	なでる・さする・持つ・握る・引っぱる・ひねる・はさむ・回す・つかむ・取る・押す・ぶつける・運ぶ・投げる・ささえる・持ち上げる・背負う・ころがす・さげる・つなぐ・組む・抱く・動かす・落とす・渡す・開ける・閉める・つまむ・まるめる・かためる・ひねる・掘る・突く・こぐ・つねる・ける・けとばす・ふむ・拾う・捨てる・とりかえる・よける・つかまえる
動作	動く・止まる・はう・歩く・走る・ころぶ・倒れる・はねる・とぶ・立つ・けんけんする・スキップする・足ぶみする・回る・登る・とび上る・降りる・坐る・飛び込む・泳ぐ・浮く・浮かぶ・もぐる・あがる・入る・通る・乗る・追いかける・逃げる・かくれる・かわる・くっつく・来る・離れる・集まる・並ぶ・横切る

肯定的な言葉リスト･･･結果よりプロセスを認めることが最も良い。良い面を具体的に言葉にして伝えることや、自分の感動を伝えることが良い。自己肯定感が低い子どもには、ほめ言葉のシャワーが必要なこともある。5歳児以降は、難しい言葉を好む傾向もあるため、難しい言い回しも入れている。

【内面・性格】
優しいね
心がきれいだね
心が広いね
器が大きいね
思いやりがあるね
とても親切だね
寛大だね
献身的だね
人の痛みがわかるね
包容力があるね
気前がいいね
プラス思考だね
ポジティブ思考だね
エネルギッシュだね
アクティブだね
アグレッシブだね
熱いね
情熱的だね
勢いがあるね
意思が強いね
責任感が強いね
根性があるね
一途だね
打たれ強いね
自分をもってるね
自立しているね
芯が強いね
辛抱強いね
負けず嫌いだね
物怖じしないね
はっきりしているね
決断力があるね
存在感があるね
個性的だね
妥協を知らないね
度胸があるね
ピュアだね
和むね
マイペースだね
ユーモアがあるよ
おちゃめだね
おてんばだね
純粋だね
正直だね
素直だね
性格がいいね
誠実だね
聞き上手だね
理知的だね
機転がきくね
適応力が高いね
さわやかだね
センスいいね
～のようだね

【プロセス・成果】
いい考えだね
いいアイディアだね
うまく計画したね
すごい発見をしたね
すごく頑張ってたね
よくやったね
進歩したね
全部自分でやりとげたね
～したんだね
～できたんだね
ていねいにつくったね
ていねいにぬったね
ここをうまくつないだね
いい仕事をしたね
すごいね
すばらしいね
驚いたね
すてきだね
最高だね
見事だね
完璧だね
立派だね
かっこいいね
おもしろいね
段取り力があるね
手際がいいね
手先が器用だね
手慣れてるね
手早いね
発想が豊かだね
いい感じだね
いい仕事をしたね
いい調子だね
幸せになるね
うれしくなるね
楽しくなるね
感動した
まるで～みたいだね
とびきりいいのができたね
いいものをつくったね
芸術的だね
切り方が上手いね
持ち方が上手いね
腕がいいね
アイディアが豊富だね
頭の回転が早いね
いろんな情報を知ってるね
頼もしいね
覚えが早いね
観察力があるね
記憶力がいいね
語彙が豊富だね
丁寧だね
～に強いね
創造力があるね
多才だね
話がわかりやすいね
読みが深いね
理解が早いね
話題が豊富だね
引き出しがいっぱいだね
足が速いね

【見た目・外見】
明るいね
いつも一生懸命だね
動きが軽やかだね
動きが速いね
光ってるね
輝いてるね
滑舌がいいね
りりしいね
声が通るね
しなやかだね
動きがいいね
丈夫だね
背筋が伸びているね
体力があるね
たくましいね

＊参考：本間正人・祐川京子「ほめ言葉ワークブック」ＰＨＰ2008、カリン・シールズ「子どもを「英語でほめて」育てよう」日本実業出版社 2015

参考資料：

禿美紗子「モンテッソーリ教育（理論と実践）言語教育」学研 1981、
湯汲英史「子どもが伸びる関わりことば 26―発達が気になる子へのことばかけ」鈴木出版 2006、
湯汲 英史「切りかえことば 22―感情をうまく伝えられない子への」鈴木出版 2007、
Dana Suskind “Thirty Million Words: Building a Child's Brain” Dutton 2014 、
国立国語研究所「幼児の語彙能力」国立国語研究所学術情報リポジトリ 1980、
高山静子「学びを支える保育環境づくり」小学館 2017、
間正人・祐川京子「ほめ言葉ワークブック」ＰＨＰ2008、
カリン・シールズ「子どもを「英語でほめて」育てよう」日本実業出版社 2015